学校法人 大阪滋慶学園

社会の要請に応える人材を輩出

「実学教育」「人間教育」「国際教育」を建学の理念に、7つの医療・福祉系専門学校と大学院大学を運営する大阪滋慶学園グループ。社会の要請に応える人材を輩出し、卒業生の多くは各分野のリーダーとして活躍している。医療と福祉で求められる人材とは何か。どのような職業人教育が必要なのか。浮舟邦彦理事長が社会医療法人きつこう会の小川嘉誉理事長（多根総合病院名誉院長）と語り合った。

学校法人大阪滋慶学園
浮舟 邦彦理事長

うきふね・くにひこ　大阪滋慶学園理事長。北海道から九州まで全国で70校の専門学校や大学院大学などを運営する滋慶学園グループの総長も務める。米フロリダ州ウエストフロリダ大など海外3大学から教育名誉博士号を授与されている。75歳。大阪府出身。

対談

社会医療法人きつこう会
小川 嘉誉理事長

おがわ・よしたか　大阪大医学部附属病院、大阪の貝塚市立病院勤務などを経て多根総合病院院長。現在は社会医療法人きつこう会理事長で多根総合病院名誉院長。大阪府病院協会名誉会長、大阪府救急医療連絡協議会名誉会長も務める。80歳。大阪府出身。

職業人教育で社会に貢献

――多根総合病院をはじめ、きつこう会の医療・介護施設に大阪滋慶学園の数多くの卒業生が就職し、活躍されています。

小川　総合病院を中心に眼科やリハビリ病院に2013年から4年間で28人を受け入れました。臨床工学技士や視能訓練士、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士らが活躍し、なかでも眼科で働く21人の視能訓練士のうち、半数が大阪滋慶学園の卒業生。患者さんのために他の職員と協力して仕事をうまくこなしている。技能面だけでなく、人格的に素晴らしい人が多い、と担当部長が褒めています。人間教育に力を入れているからでしょう。

浮舟　ありがとうございます。本学園のビジョンは、職業人教育を通して社会に貢献していくことです。即戦力としての技術は当然のこと、医療人、社会人の心構えや人間力をしっかり身につけてもらうことを理念に掲げています。医療・福祉業界に信頼され、学生からこの学校を選んでよかったと思ってもらえる学校、高校の先生や地域からも信頼される学校にしていきたい。学校の教育力と運営力の向上を目指す研究機関「滋慶教育科学研究所」を立ち上げたのもそのためです。

――職業人教育、人間教育の具体的な内容を。

浮舟　即戦力の技術・知識に加えて、クラス運営などを通してセルフマネジメントを身につけてもらっています。人間教育は、礼儀やあいさつも含めて、イベントなど学園生活のなかで習慣として身につけます。卒業研究や実習は、チームで取り組み、そこでリーダーシップやコミュニケーション力、チームワークなど物事に主体的に取り組むことの大切さを学んでもらいます。

――チームワークやリーダーシップは医療・介護の現場で重要です。

小川　そうですね。そのためにも、きつこう会では職員が楽しく働ける職場づくりを第一に考えます。そうでなければ、大変な仕事ですから長続きしません。職員の満足度を高めることで、ひいては患者さんの満足につながる。そういう考え方で職場環境を整えています。

そのことに少し関わってくるのですが、学生の実習を受け入れる側の病院や施設の負担がかなり大きい。学生にとっては実習の場が一番勉強になる、とわかっていても現状では問題が多い。実習制度を一から見直し、受け入れ側だけでなく、学生や学校に負担を強いることのない制度に改正すべきだと思います。

浮舟　最近、産学連携や実習、インターンシップ（学生の就労体験）の重要性が言われています。どういう形がベターなのか。医療の未来にとって、人材は重要な要素なので、双方でコミュニケーションを図りながらカリキュラムを作る時期に来ていると思います。

医療のグローバル化にも対応

――海外提携校の数も群を抜き、多くの海外研修生が大阪滋慶学園に学びに来ています。国際教育を重視する理由は。

浮舟　最初に手がけたのはグループ校の歯科技工士で、まずドイツに視察に行き、その後も各ジャンルの世界の優れた教育機関を訪ねました。そこで世界のレベルをキャッチアップすることが大事だと知り、提携交流を重ね、米国コミュニティカレッジ協会の理事校を引き受けたりもしています。大阪滋慶学園だけでも24校の海外提携校があり、学生と教員が相互に交流しています。今年も5月に中国の上海健康医学院の臨床工学専攻の学生と教員、6月には上海中医薬大学の看護・リハビリ専攻の学生を受け入れました。グループでは東洋医学を学ぶフランスのエステ校なども受け入れています。

高等職業人教育を通じて社会に貢献する

医療の安全の向上を深求する
わが国初の医療安全管理学修士課程
●医療管理学研究科　医療安全管理学専攻（修士課程2年）

学校法人大阪滋慶学園 滋慶医療科学大学院大学 TEL.06-6150-1336 www.ghsj.ac.jp 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-8（新大阪駅前）

●医療秘書・情報学科（昼間2年制）
●医療心理科（昼間3年制）
●薬業科（昼間2年制・夜間1年制）
●臨床検査技師科（昼間3年制）
●言語聴覚士学科（昼間3年制・昼夜間2年制*）*大阪のみ
●鍼灸師学科（昼間3年制）
●鍼灸美容学科（昼間3年制）
●東洋医療技術教員養成学科（昼間2年制）
●専攻科（昼間1年制）

学校法人 大阪滋慶学園 厚生労働大臣指定校 日本病院合観定校 大阪医療技術学園専門学校 〒530-0044 大阪市北区東天満2-1-30 0120-78-2501 www.ocmt.ac.jp

●臨床工学技士科（昼間3年制・夜間3年制）
●臨床工学技士専攻科（昼間1年制）
●生命工学技術科（昼間3年制）
・バイオサイエンス専攻
・ロボット専攻　・医用電子専攻
●スポーツ科学科（昼間2年制）
●鍼灸スポーツ学科（昼間3年制）
●柔道整復スポーツ学科（昼間3年制）
●柔道整復師学科（昼間3年制（午前コース・午後コース））
●日本語学科（昼間1年制・昼間1.5年制）
●専攻科（昼間1年制）

学校法人 大阪滋慶学園 厚生労働大臣指定校 大阪府認可 大阪ハイテクノロジー専門学校 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-43（新大阪駅前） 0120-33-8119 www.osaka-hightech.ac.jp

●看護学科（昼間3年制）
●社会福祉科（昼間4年制）
●介護福祉科（昼間2年制）
●医療秘書・情報科（昼間2年制）
●保健保育科（昼夜開講2年制）
●精神保健福祉科（夜間1年制）
●社会福祉専攻科（夜間1年制）
●専攻科（医療秘書・情報専攻）（昼間1年制）
●別科［通信教育科］

学校法人 大阪滋慶学園 厚生労働大臣指定校 大阪保健福祉専門学校 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-47（新大阪駅前） 0120-128-294 www.ochw.ac.jp

学校法人 大阪滋慶学園

産学連携を強化し地域貢献を

――医療のグローバル化が進展しています。多根総合病院にも外国人の救急患者が増えているのでは。

小川　とくに増えているわけではありませんが、質のいい医療をしていれば、必然的に外国人の重症患者も来ます。グローバル化では海外の医療機関と提携し、互いに勉強し、刺激し合っています。たとえば、韓国の眼科病院とシンポジウムを開いたり、一昨年から毎月ひとりずつ、米国のER（救急治療室）の医師が来て、勉強会を開いてます。国内でもハイレベルの多根記念眼科病院では、今年、ベトナムから要請され、医療技術の指導に行きました。

医療安全の解決にも取り組む

――大阪滋慶学園は大学院教育にとどまらず、地域と組み大学院が「医療安全実践教育研究会」も立ち上げています。

浮舟　学会的な場も必要ということで、滋慶医療科学大学院大学から派生する形で3年前に立ち上げました。医療の安全は全医療人にとって関心の高いテーマ。重要性を考え、大学の先生や現場の看護師、ドクターらとともに課題解決に取り組んでいます。医療事故は今や国にとっても重要なテーマになっています。

小川　大学院が開学される少し前、世の中で医療崩壊が叫ばれはじめ、病院内にも医療事故専門部門を設置する必要性が出てきたわけです。私の恩師が滋慶医療科学大学院大学の初代学長だったので、私も設立に関わりました。

浮舟　医療の安全は病院経営の重要マター。医療職間のチームワークが大切で、本大学院では多職種連携に力を入れています。すでに4期80人余りの修了生が病院の医療安全管理室長などとして頑張ってくれています。

小川　多根総合病院では医師の副院長をトップに、その下に看護師の副部長クラスを置き、医療安全対策チームを立ち上げました。医療の安全は病院経営に直結していますし、患者さんの信頼を得るには、医療安全を含めた質を高めていかないといけません。

地域医療を担う人材育成

――地方創生のなかで地域医療も大きな課題です。大阪滋慶学園では近年、島根と鳥取に看護学校を開校されました。

浮舟　日本は「1億総活躍時代」を目指しており、地域産業である医療福祉分野でも活性化が求められています。しかし、都会で学んでそのまま都会に就職する学生が多く、地方では看護師をはじめ、介護やリハビリテーションの人材が不足している。そこで、地域の人は地域で育て、地域で就職してもらうという、地域循環型の医療福祉制度を確立させたい、という行政からの要請で実現しました。やるかぎりは地域貢献につながることを願っています。

――きつこう会では高度救急医療から予防医療までのトータルヘルスケアシステムを築き、地域医療・介護に大きな役割を果たしておられます。

小川　これまで必要に応じて機能分化と連携を進めてきました。今後は、在宅福祉を含めた地域包括ケアへと移行していくわけですが、地域のかかりつけ医や施設と連携してシステムを構築すれば、本当の意味の地域包括ケアは実現できると思います。行政がその旗振り役を担ってくれることを期待しています。

――医療や介護に携わる人材に求めるスキルや能力をどう考えますか。

小川　まず、新社会人に対してはコミュニケーション力や、患者を第一に考える心が必要です。そのあとは、病院の機能によって求められる人材は変わる。たとえば、いま養成中の特定看護師を、国は最先端医療に従事させようとしていますが私は訪問看護や慢性期にこそ、その能力が必要だと思う。認定看護師の場合も、慢性期などのチーム医療の中で重要な役目を担っています。自分の役割や専門性をきちっと主張し、判断できることが大事になってくるでしょう。

「専門職業大学」も検討課題

――最後に、将来展望をお聞かせください。

浮舟　これからは、産業界と教育機関がコミュニケーションをとりながら、ともに人材育成に取り組むことが重要な時代になってきます。産学連携をより深化させ、業界が求める人材を養成していくことに変わりはありません。また中央教育審議会が文部科学大臣に答申した『専門職業大学』（仮称）への対応も考えていきたいと思っています。

小川　きつこう会グループの各病院・施設が質の高い医療・介護・予防サービスを継続していくことで社会に貢献することが一番の目標です。大阪滋慶学園さんには今後も引き続き、優秀な人材を輩出してくださることを期待しています。

――ありがとうございました。

対談後に握手を交わす浮舟邦彦理事長と小川嘉誉理事長

■社会医療法人きつこう会
1949年発足。高度急性期医療を担う多根総合病院（大阪市西区）を中心に大阪市内で4つの病院のほか予防施設、介護福祉施設など計13拠点を運営する。救急医療から在宅、予防医療までトータルヘルスケアシステムを築き大阪市西部の地域医療・介護の中核を担う。法人本部は大阪市港区南市岡1の2の5。

大阪滋慶学園グループ

●診療情報管理士学科
・診療情報管理士コース（昼間3年制）
・視能訓練士学科（昼間1年制）内部進学コース（昼間3年制＋内部進学1年制）
・医療ソーシャルワーカーコース（昼間3年制＋専攻科1年制）
●理学療法士学科（昼間3年制・夜間4年制）
●作業療法士学科（昼間3年制・夜間4年制）
●視能訓練士学科（昼間1年制・昼間3年制）
●言語聴覚士学科（昼間2年制*）*大阪のみ

学校法人 大阪滋慶学園 厚生労働大臣指定校 大阪医療福祉専門学校 〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-14（新大阪駅前） 0120-1298-59 www.ocmw.ac.jp

こころで、看て。技術で応えて。
患者様が、心をあずけることができる、
看護の「こころ」と「ちから」を
育成します。
●看護学科（昼間3年制）

学校法人 大阪滋慶学園 厚生労働大臣指定校 大阪医療看護専門学校 〒560-0045 大阪府豊中市刀根山5-1-1（刀根山病院隣） 0120-57-1080 www.ocmn.ac.jp

●看護学科（昼間3年制）
●理学療法士学科（昼間3年制）
●臨床工学技士学科（昼間3年制）
●言語聴覚士学科（昼間3年制）

学校法人 大阪滋慶学園 出雲医療看護専門学校 〒693-0001 島根県出雲市今市町 1151-1 0120-868-123 www.icmn.ac.jp

●看護学科（昼間3年制）
●理学療法士学科（昼間3年制）
●作業療法士学科（昼間3年制）
●言語聴覚士学科（昼間2年制*）*大阪のみ

学校法人 大阪滋慶学園 鳥取市医療看護専門学校 〒680-0835 鳥取県鳥取市東品治町 103-2 0120-30-1145 www.tcmn.ac.jp